

RAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
【2週間隔】アービタックス単剤療法 患者プロトコール

催吐リスク
最小度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース 14日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0～1 年齢:18-75歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—	
プレメディ	ボラミン5mg＋デキサメタゾン＋生食100mL		Day1	30分	
①	アービタックス:500mg/m ² 生食(500-アービタックス注入量)mL	mg	Day1	2時間	
経過観察 (1時間)	アービタックス投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュ:アービタックスの投与速度と同じ速度(4mL/分)以下で。 以降、infusion reactionの発現に注意し、1時間経過観察。				

佐賀大学医学部附属病院